

タカラダニ類

分類：ダニ目タカラダニ科等

学名：－

英名：－



■解説^{1) 2) 3)}

タカラダニは前気門亜目のタカラダニ上科 (Erythraeoidae) のタカラダニ科 (Erythraeidae) とナガタカラダニ科 (Smarididae) のダニの総称である。タカラダニ類は、日本では4属13種が報告されている。体は簿毛で覆われ、腹面の毛は特に密で、繊細である。生活史は不明な点が多い。卵、幼虫、若虫を経て成虫になるが、若虫は第1、2、3期があり、第1、3期は静止期である。幼虫はセミ、アブラムシ、バッタ、カミキリムシ、ガ、アブ、ハバチ、クモ、ザトウムシなど多くの陸生の節足動物の体表面に寄生し、体液を吸って栄養を摂る。成虫および若虫は、微小生物を捕食する捕食性と考えられていたが、花粉や胞子も食す菜食性とも提唱されている。カベアナタカラダニ (*Balaustium murorum*) は、年1世代で、春先幼虫が孵化し、5～6月に成虫となり、盛夏までに産卵して親虫は死滅し、卵で越冬する。

[カベアナタカラダニ]

■体長

卵	: ー
幼虫	: 約 0.5mm ²⁾
若虫	: ー
成虫	: 1.0 mm程度 ²⁾

【参考文献】

- 1) 芝実. 生活と環境. 1989, Vol. 34, No. 5, p. 39
- 2) 松崎沙和子. 生活害虫の事典. 朝倉書店. 佐藤仁彦編. 2003, p. 226
- 3) 松崎沙和子・武衛和雄. 都市害虫百科. 朝倉書店. 1993, p. 189

【写真出展】 日本ペストコントロール協会